

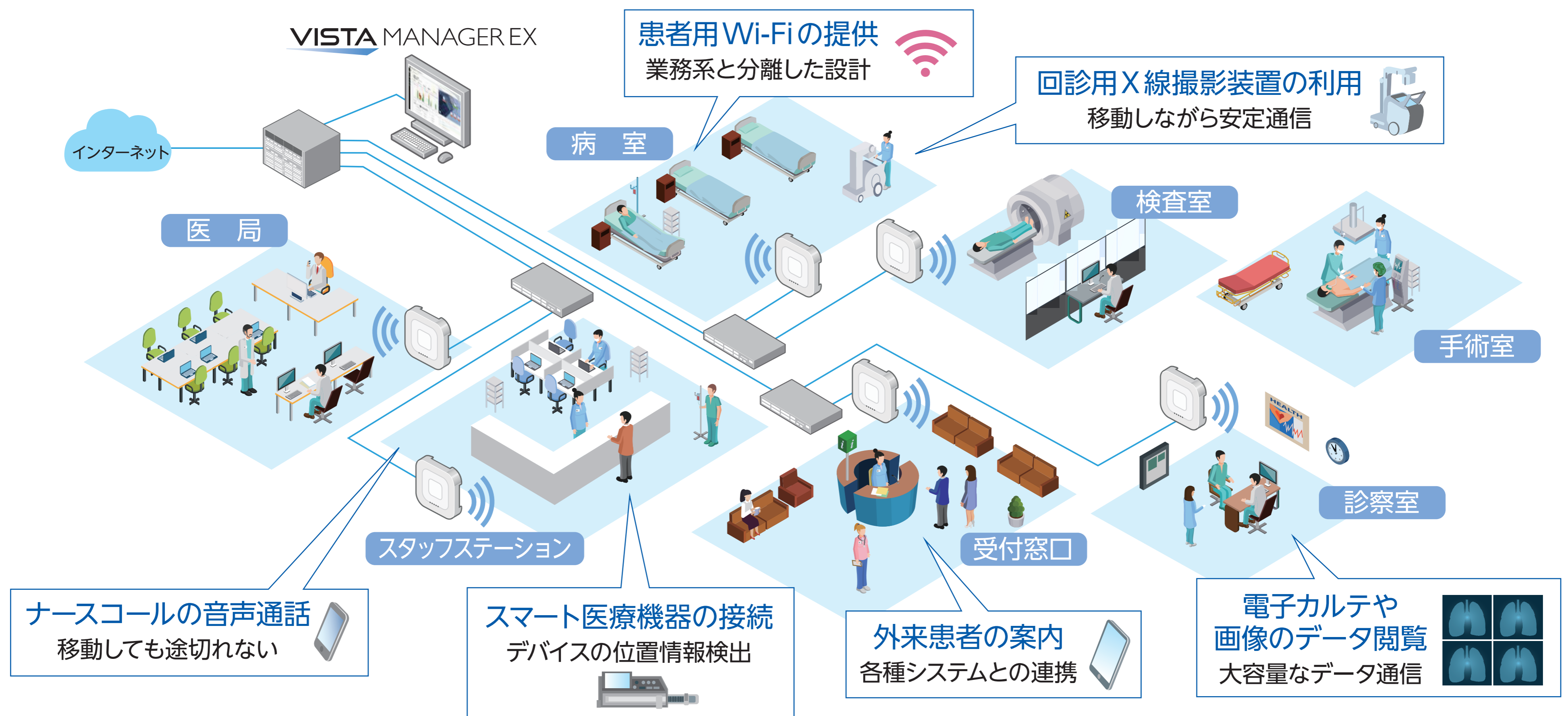
院内での無線LAN活用と求められる要件

無線LANの活用で業務の効率化と患者満足度の向上

- 課題**
- 医療機器との電波干渉や電波の届く範囲など安定性が気になる
 - PHSからスマホへの移行でWi-Fiを利用した音声通話を検討したい
 - セキュリティも確保しながら業務通信に影響なく患者用Wi-Fiを導入したい

- 解決**
- 周囲の電波状況に応じて電波干渉を回避し、自動調整できる無線LAN環境
 - 移動しても途切れないローミングレスな通信環境を構築
 - 患者用Wi-Fiが業務系に影響を及ぼさない安全なネットワーク設計

快適かつ安定した病院内の無線LAN利用シーン



病院にWi-Fiを導入する際の3つのポイント

電波干渉を回避

周囲の電波状況を考慮し
常に安定した無線LAN環境

最適なチャンネルと電波出力を自動調整

移動しても途切れない

ナースコールなどの音声通話も
移動しながら安定通信

シングルチャンネルでローミングレス通信を実現

患者用Wi-Fiも安全に

業務系 (HIS系 / 事務系) に影響のない
安全な無線LAN設計

1台のAP内で論理分離

HIS系 SSID:HIS 5GHz(W52)
事務系 SSID:Internet 2.4GHz
患者用 SSID:Guest 5GHz(W56)